

□ 要請番号 (JL04823B15)

募集終了



| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|------|-------------|------|------|----|------|-----------------------|
| ブータン | G120 バドミントン | | 個別 | 新規 | 2年 | ・2024/2・2024/3・2025/1 |

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

ブータンオリンピック委員会

2) 配属機関名（日本語）

ブータンバドミントン連盟

3) 任地（ティンプー県ティンプー市） JICA事務所の所在地（ティンプー）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（徒歩で約0.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は1994年に設立され、1996年にブータンオリンピック委員会に連盟として登録された。バドミントンの普及振興、競技力の向上、代表選手の選考及び国際大会への派遣等の事業を行っている。配属先に3面あるコートは一般に開放されており、選手は学校が終わる夕方頃から練習に参加している。連盟スタッフは6名で、年間予算は約4万ドルであったが、2021年度以降はコロナ禍による影響で1万ドル以下に削減されている。過去に隊員派遣歴はない。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先は国際大会で活躍できるエリート選手の育成を目標の一つとしているが、まだ特記される記録はない。3名のコーチは、世界バドミントン連盟(BWF)のコーチレベル1,2のいずれかのコースを修了している。しかし、選手育成の体系的なトレーニングについての知識・経験が不足している背景から隊員の要請に至った。隊員にはエリート選手の育成に加えて、初級者への指導や普及活動など幅広い活動内容が期待されている。なお、選手が日中、学校に通っていることから、練習は夕方の時間帯に実施される。一方、パラバドミントンでは、2021アジアユースパラ競技大会にて女子選手が、低身長(SH6)シングルスと、混合ダブルス2種目で3位入賞を果たしている。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

同僚と相談しつつ、主に以下の活動を実施します。

1. 代表(候補)選手に対する指導・強化
2. 代表(候補)選手以外への選手に対する指導
3. ブータン国内における(主にユース世代を対象とした)普及活動の実施
4. 代表強化のための提案

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

屋内バドミントンコート(3面)、ラケット、シャトル、ガット張り機など

4) 配属先同僚及び活動対象者

【配属先同僚】

- 上長: 男性
- 同僚コーチ3名(20代~40代男性3名、BWFコーチレベル1: 1名、レベル2: 2名)

【活動対象者】

- 代表(候補)選手8名(男女各4名、15歳~22歳)

- その他選手20名 (初級、9歳～16歳)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

英語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許/資格等]： (JSPO公認コーチ3 (旧コーチ))

[学歴]： (大卒) 備考：同僚の学歴水準に合わせるため

[性別]： () 備考：

[経験]： (競技経験) 5年以上 備考：代表選手育成のため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]： (温暖冬季少雨気候) 気温： (-5～30°C位) [電気]： (安定)

[通信]： (インターネット可 電話可) [水源]： (安定)

【特記事項】

- 現地語については、現地訓練期間に語学研修を行う予定。

【類似職種】